

## ネイティブ ストレプトマイセス グリセウス アミノペプチダーゼ I

Cat. No. NATE-0070

Lot. No. (See product label)

### はじめに

**説明** S. griseusからのアミノペプチダーゼIは、ほとんどのタンパク質のN末端残基を除去できるかなり広い特異性を持っており、ペプチド末端の残基がイミノ酸である場合を除きます。これは2つのZn<sup>2+</sup>結合部位を含んでいます。S. griseusからのアミノペプチダーゼIは1,10-フェナントロリンによって阻害され、Ca<sup>2+</sup>によって6倍活性化され、熱不活化に□しても安定化されません。この単量体重鉛メタロプロテインの等電点 (pI) は5.4です。

**用途** ストレプトマイセス・グリセウス由来のアミノペプチダーゼIは、タンパク質構造の分析の試□として、またカルシウムイオンによるプロテアーゼ活性化の研究のモデルとして使用される可能性があります。合成基質を用いた二段階アッセイにおけるエンドプロテアーゼ活性の測定に試□として使用されることがあります。凍結乾燥粉末にはカルシウムアセテートも含まれています。

**別名** アミノペプチダーゼ III; アミノペプチダーゼ yscl; ロイシンアミノペプチダーゼ IV; 酵母アミノペプチダーゼ I; EC 3.4.11.22; 9031-94-1; アミノペプチダーゼ I

### 製品情報

**由来** ストレプトマイセス・グリセウス

**形態** 凍結乾燥粉末。カルシウムアセテートを含む

**EC番号** EC 3.4.11.22

**CAS登録番号** 9031-94-1

**活性** > 200 ユニット/mg タンパク質

**等電点** 5.4

**単位定義** 1ユニットは、pH 8.0、25°C、3.0 mM基質濃度で、1分あたり1.0 μmoleのL-ロイシン-p-ニトロアニリドをL-ロイシンとp-ニトロアニリンに加水分解します。

### 保管・発送情報

**保存方法** -20°C